

研修名	救急救命講習会
日時	令和5年 5月31日(水) 16:15 ~ 17:00
目的	心肺蘇生法及びAEDの取り扱いに関する基本的な技術を身につける。
研修方法	映像での救命講習の流れの確認と、救命講習普及員による実習
内容	<ul style="list-style-type: none">・パワーポイントで本校のAEDについてや、心肺蘇生法の必要性について確認・普及員による心肺蘇生法の手順に従った実演・数グループに分かれての実習・実習の振り返り・ASUKAモデル(死線期呼吸)について映像で学習

アンケート結果【要約】

1. 講習中に受けた質問

Q 水に濡れた時どうしますか

A→電極パッドを貼る部分とその周囲の水分をタオルなどで拭いてからパッドを貼ります。

(胸が乾いていれば、濡れた床の上でも使用できます)

Q 2人目が校内において最初にすべきことは?

A→校内放送で『□□番〇〇です』をする。あとは3人目4人目などへ「AED」「応援要請」などを分業していくことになります。※校内の内線番号等に係るため一部改変

2. 追加で先生方へ伝えたいこと

- ・貼り薬があったら、はがして胸部の薬剤を拭いてからパッドを貼ってください。
- ・何かに気づいたとき、あるいは救命する際には必ず自分の時計を見て時間をチェックしてください。いつから何が始まって、何をしたらどうなったか、がわかります。(救急士へ伝える際の情報源となります)

3. 今年度、普及員として講習会を行った感想・引継ぎ・課題 等

- ・人工呼吸もそろそろ練習いるかな…と悩みます。
- ・時間が45分になったので、スクーマンを押す練習に目的を絞ったのがよかったと思う。
アスカモデルの映像を先に見た小学部が良かったと言っていたので、先に見てもいいかも
(実技の時にAEDの使い方に意識が深まるから)
- ・毎年基本は抑えつつ、少し違った新しい情報も提供できるようにしないといけないなと思いました。(毎年そうしてくださってるので来年も)
- ・はじめに「アスカモデル」を見ていただいたのはよかったと思います。見ておいたことで救助者への励ましの声やことばがけが実際のイメージに近い訓練ができました。与えられた時間は本当に限られているので、「(胸骨圧迫で)5cm 押し込む。小児は体の厚さの半分押す。」を今回は強調して伝えています。垂直に押せていない先生が多かったので、次回見ていただく方ご注意ください。校内想定の場合であれば、119 通報は一般的な流れよりも遅くなります。(2分程度)ファーストエイドがとても重要となりますことを共有しましょう。
- ・スクリーンの準備(音が出ない等)など、準備に時間がかかったので、もう少し早めに準備するか、人手が必要かなと感じました。